

環境調査結果のお知らせ

平成25年6月4日午前9時半から野見湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温21～23℃、塩分33～34、溶存酸素濃度4～8mg/lでした。

透明度は2～6mで、有害種カレニア・ミキモイが増殖していました。被害が想定される細胞密度を超えているため、餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は21.3～23.0℃、塩分は32.6～33.7でした。前回調査時(H25.5.30)と比較して、水温は1℃低下、塩分は表層が4上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は4.32～8.26mg/lでした。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.3～5.9mで、馬の背～勢井等で着色が見られました。

検鏡の結果、勢井周辺で魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモイが2,680cells/ml確認され、被害が想定される細胞密度に達していました。また、パッチ状になった赤潮は、潮流や風の影響で移動する危険性がありますので、他の漁場でも注意が必要です。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

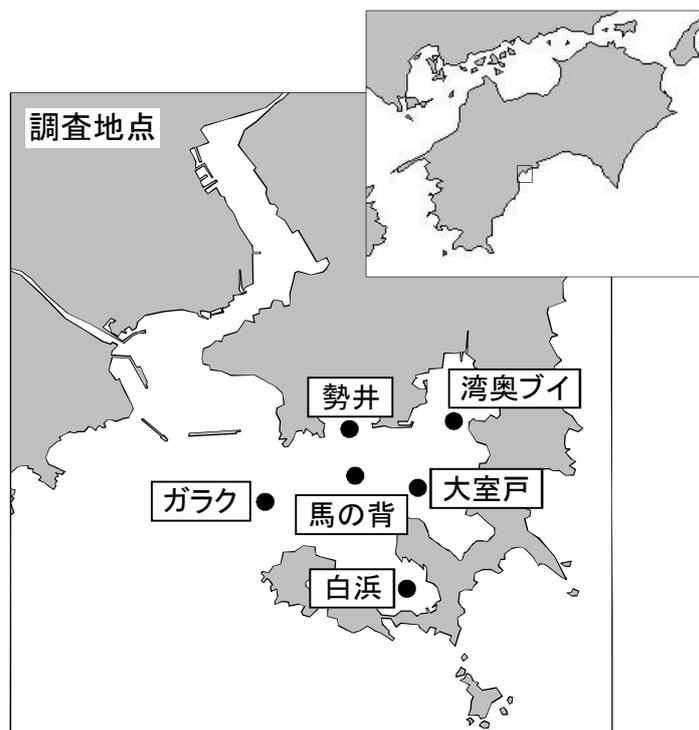


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	大室戸	馬の背	ガラク	勢井	白浜	平均※	前回調査(H25.5.30)	
								平均※	前回との差 今回-前回
0m	22.9	23.0	22.7	22.6	22.7	22.6	22.8	24.2	▲ 1.4
2m	22.9	22.6	22.8	22.5	22.5	22.4	22.7	23.4	▲ 0.7
5m	22.9	22.6	22.5	22.4	22.5	22.4	22.6	23.1	▲ 0.5
10m	22.7	22.6	22.5	22.2	22.4	22.7	22.4	23.0	▲ 0.5
B-1m	22.5	21.9	21.3	21.5	21.9	22.6	21.8	22.5	▲ 0.8

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	大室戸	馬の背	ガラク	勢井	白浜	平均※	前回調査(H25.5.30)	
								平均※	前回との差 今回-前回
0m	32.8	32.9	33.0	32.9	33.0	32.6	32.9	29.1	3.8
2m	32.9	32.9	33.0	33.1	33.0	32.8	33.0	32.4	0.6
5m	33.2	33.1	33.2	33.2	33.2	32.9	33.2	33.4	▲ 0.2
10m	33.3	33.3	33.4	33.5	33.3	33.3	33.4	33.6	▲ 0.2
B-1m	33.6	33.7	33.7	33.6	33.7	33.5	33.6	33.7	▲ 0.1

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	大室戸	馬の背	ガラク	勢井	白浜	平均※	前回調査(H25.5.30)	
								平均※	前回との差 今回-前回
0m	7.81	7.88	7.22	7.25	7.92	7.75	7.43	6.67	0.75
2m	7.68	8.03	7.26	6.99	8.26	7.99	7.31	7.80	▲ 0.49
5m	5.55	6.98	6.21	6.59	6.73	7.98	6.12	5.85	0.26
10m	5.35	6.08	5.76	6.41	5.74	6.23	5.84	5.67	0.17
B-1m	4.32	5.29	6.10	6.37	5.58	5.67	5.60	5.99	▲ 0.39

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	大室戸	馬の背	ガラク	勢井	白浜
水深	16.4	19.0	24.7	15.2	17.5	16.6
透明度	4.0	5.2	3.9	6.9	2.3	5.9
前回透明度	3.5	3.5	3.1	4.0	4.3	-

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	カレニア・パピリオナセア	ココロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム・フルカ	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、スピラレ)	プロロセントラム・デンタータム
		湾奥ブイ	0m	0	0	0	0
	2m	1	0	0	1	9	80
	5m	146	5	0	26	17	10,500
大室戸	0m	0	0	0	0	5	69
	2m	1	0	0	3	8	1,040
	5m	67	1	0	7	9	1,840
馬の背	0m	21	2	0	2	3	160
	2m	16	3	0	7	6	670
	5m	58	5	2	14	7	1,360
ガラク	0m	0	0	0	3	4	0
	2m	5	4	0	5	2	1
	5m	23	1	0	4	3	29
勢井	0m	45	5	0	12	12	710
	2m	2,680	13	13	85	2	10,700
	5m	43	5	0	31	20	7,700
白浜	0m	0	0	0	0	7	11
	2m	0	1	0	0	5	109
	5m	0	0	0	0	4	220

漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/ml(へい死)
- カレニア・パピリオナセア： 赤潮発生時(へい死)
- ココロディニウム・ポリクリコイデス： 数百～1,000cells/ml(へい死)
- ケラチウム・フルカ： 100cells/ml(餌食いの悪化)